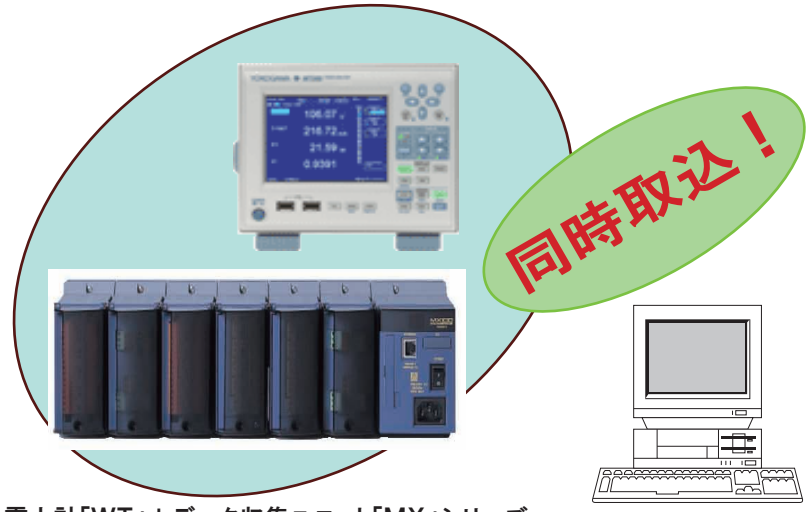


WaveResearcher®

電力計「WT」+リアルタイムデータ収集ユニット「MX」  
省エネ用「同時データ収集・解析ソフトウェア」

横河電機(株)製の電力計「WTシリーズ」とデータ収集ユニット「MX」とを1台のパソコンに接続し、同時にデータ収集することができます。太陽光・風力発電等の新エネルギーシステムの総合評価や省エネ法、エネルギースター等で年々強化されているCO2対策や消費電力削減の取り組みに大きな効果を発揮します。

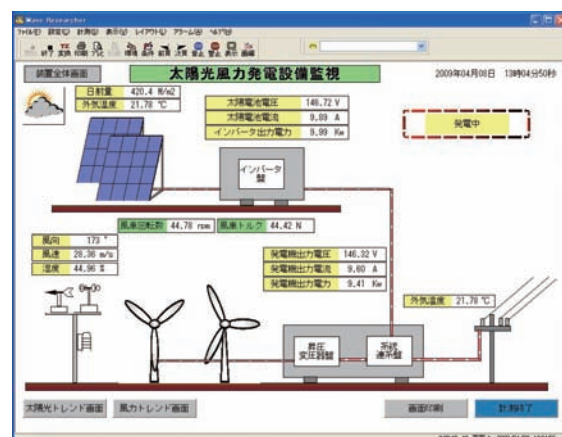
新発売



電力計「WT」+データ収集ユニット「MX」シリーズ

## 主な機能と特徴

- 別々に測定していた電力計とMXシリーズで測定していた温度等のデータを一体化してリアルタイムに収集を行います。  
事務機器、家電製品、産業用機器の信頼性試験や省エネ計測、太陽光、風力発電、燃料電池等の新エネルギー製品の開発、試験に幅広く使用でき、試験精度や作業効率の向上に大きく貢献します。
- 使用できる電力計はWT3000、WT1600、WT500、WT230、WT210を最大4台までと、データ収集ユニットはMXシリーズ又はDARWINシリーズが接続できます。
- 多彩な電力計の測定モードの内、通常測定モードにのみ対応します。高調波やFFT測定モードには対応しません。
- 電力計やデータ収集ユニットのレンジ設定やスケール指定も可能ですので、当ソフトウェアのみで測定機器の設定と測定ができます。
- 画面表示機能は「ウェブリサーチャー」シリーズと共通です。電力計とMXとのデータを1つのトレンドグラフに表示したり、電力と温度のXYグラフ表示等、製品の電力効率測定や信頼性試験に役立ちます。
- 従来、電力計のデータを直接収集できない為に、データ収集ユニットに電力計のアナログ出力を入力させるケースがありましたが、精度面でもお奨めできません。当ソフトウェアならそのような問題もありません。



電力計とデータ収集ユニットのデータを同時に測定した時の画面例



当ソフトウェアは新エネルギーの電力測定や家電製品の性能評価試験に多数使用されている、横河電機(株)製の電力計WTシリーズと温度等、多目的なデータ収集に使用できるデータ収集ユニットMXシリーズとを1台のパソコンに接続し、同時にデータ収集・解析ができます。

## 機能仕様

データ計測機能…電力計「WT」とデータ収集ユニット「MX」のデータを同時に収集できます。

対応可能電力計	WT3000、WT1600、WT500、WT230、WT210 最大4台接続可能。
データ収集ユニット MX/DARWINシリーズ	MX:最大20ユニット、合計1200チャンネル DARWIN:最大3システム、合計900チャンネル
最大測定可能チャンネル	最大1200チャンネルまで指定可能。
使用通信インターフェース	機種により異なります (Ethernet, GP-IB, RS232C, USB)
対応測定モード	通常測定モードのみ対応します。積算、高調波測定、波形演算、FFT演算、サイクルハイサイクルモードには対応しません。
最短測定間隔	1台接続の場合は最短100ms。機器の組み合わせにより異なる
測定時の時刻付け方法	WT+MXの場合にはMXの内蔵タイマーの時刻を使用する。 WTのみの場合にはパソコンのタイマーの時刻を使用する。

\*測定条件は電力計、MXのレンジ設定と一緒に登録・保存可能

## 測定パターン、リアルタイムグラフ表示、演算機能

測定パターン	連続計測:終了指示があるまで計測し、1つのファイルに保存。 日単位計測:1日中の指定時間帯を毎日繰り返し計測、日単位にファイルを保存。 指定時間計測:指定時間だけ計測し、1つのファイルに保存。 周期指定計測:指定した日数単位でファイルを作成保存。
測定時の画面表示	最大60点単位のトレンドグラフ、XYグラフ、瞬時値表示形式、メータグラフ、チャンネル単位棒グラフ、グループ単位棒グラフ、任意文字列、チャンネル単位瞬時値、ビットマップ(bmp,wmf,emf, jpeg)、直線、四角形、円、ボタンを組み合わせ画面を作成できます。
リアルタイム演算機能	チャンネル間演算、演算式指定最大256文字、200行、演算結果は演算チャンネルに出力、ファイル保存、グラフ表示も可能。 四則演算、pow(べき乗)、abs(絶対値)、exp(指数)、log10(常用対数)、log(自然対数)、sqrt(平方根)、sin(正弦)、cos(余弦)、tan(正接)、asin(逆正弦)、acos(逆余弦)、atan(逆正接)、max(最大値)、min(最小値)、ave(平均値)、変数・定数・条件文使用可能。
警報表示機能	4段階警報、バーグラフで警報表示、ピープ音、MX外部出力可能、警報履歴表示、印刷可能。
その他機能	カンマ付CSV形式ファイル変換、計測データ数値印刷。

## グラフ再表示、データ編集機能

後処理画面表示	測定時の画面表示と同様、横スクロール表示、カーソルリード、カーソル指定による区間演算が可能。
チャンネル間演算	測定時と同様なチャンネル間演算が可能、演算結果は演算チャンネルに出力可能。
CSVファイル変換	計測ファイルの任意のチャンネル、時間範囲を指定してカンマ区切りCSV形式でファイル変換ができる、間引き指定も可能。

- 電力計、データ収集ユニットの仕様については、横河電機カタログ、別途資料を参照ください。
- 使用するインターフェース、ソフトウェア詳細仕様については当社にお問い合わせください。
- 本文中の商品名は各社の登録商標です。本仕様はお断りなく変更することがあります。
- 当ソフトウェアの納入立金、個別改造については、当社にお問い合わせください。  
当社ではこの他、計測制御系の各種ソフトウェアの受託開発を行います。

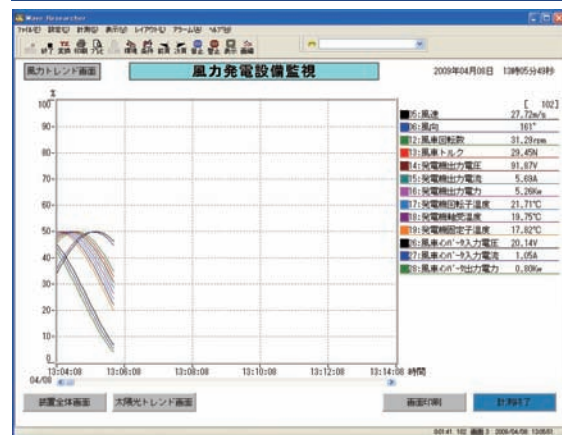
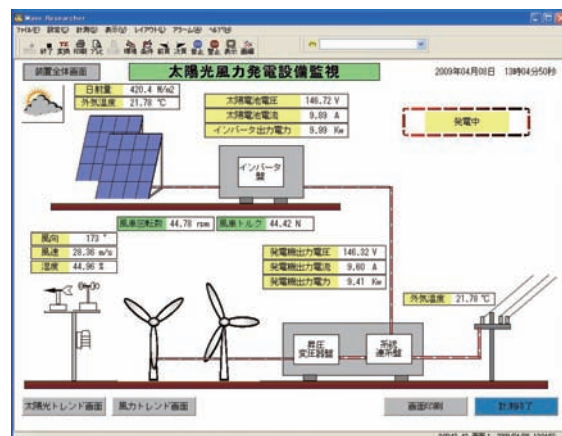
開発元・ソフトウェアお問い合わせ先



株式会社ハビリス システム営業部  
〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル  
TEL:03(3769)6291 FAX:03(3769)6285  
ホームページアドレス <http://www.habilis.co.jp>  
お問い合わせメールアドレス [Sales@habilis.co.jp](mailto:Sales@habilis.co.jp)

仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。記載の社名及び商品名はそれぞれの各社の登録商標です。このカタログの記載内容は2009年5月のものです。

## リアルタイムグラフ表示例



## ■使用機器構成例

パソコン仕様	OS:Windows VISTA/XP CPU:PentiumIV以上 メモリー:1GB以上 ディスプレー: SXGA以上
測定装置仕様	WTシリーズ電力計 (横河電機製) MX/DARWINデータ取得ユニット(横河電機製) パソコンとの通信はEthernet/GP-IB/RS232C/USB

## <特記事項>ソフトウェア仕様上の注意点について

- WTの対応測定モードは通常モードのみです。積算、高調波、波形演算、FFT演算、サイクルハイサイクルモードには対応しません。
- WT内蔵のPCCARD、FDデータの読込はできません。
- WT表示パネルの設定等、WTの全ての機能を使用できる訳ではありません。

ソフトウェア価格:お問い合わせください。  
セットアップディスク、取扱説明書、(納入立会費用別途見積)

**注意**

●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読み下さい。

お問い合わせ先